

認書類として申請が多数あったことや、税務署のe-Taxを利用した確定申告によるものであると認識している。

Q 児童デイサービス及び日中一時支援事業の利用者数増加に伴う待機者増加等の実情について、どのように評価しているのか。

A 長期休暇を中心に、定員枠を超えるなどの実情は知っている。これらの問題を解消するために、平成21年度には新たな事業所が児童デイサービスと日中一事支援を行うことも決定し、また、今後も協議を進めて新たな事業所に事業展開を依頼していきたい。

Q 一時保育事業にかかわり、一時保育の定員枠を超える保育所については、職員の配置や施設の整備をし、受入枠を増やすべきではないか。

A 施設面におけるさまざまな制約や財源確保の問題など、総合的に検討する必要があり、困難度が高いと考える。

Q 感染症予防費の不用額が多い要因について聞きたい。

A 不用額のうち、需用費については、予防啓発用のチラシ、ポスター及びパンフレットの作成費用であったが、県からの支給で作成の必要がなくなったものや、未執行のものがあったことによるものである。

Q 決算年度に保健師を統合したことについて、どのように評価しているか。

A 保健師を統合することにより、全体としてまとまった事業が実施できた。また、市内で統一したサービスを提供することもでき、以前よりも機能アップした。

Q 平成20年度の資源物分別回収・収集実績が前年度に比べ減少した要因について聞きたい。

A ごみ量全体も若干減少傾向にある中で、資源物も減少しており、資源の材質の変化や、新聞等をとらない世帯が増えてきていること、また、高齢化により資源ステーションへの持ち込みが困難となっている要因が挙げられる。

Q 原田最終処分場の埋立状況について聞きたい。

A 平成20年度末で2万6,000立方メートル埋め立てている。

Q イノシシ等農業被害対策事業にかかわり、箱わなの保有台数及び設置実績について聞きたい。

A 旧尾道市は、保有台数11台で貸し出し台数11台、御調町は保有台数10台で貸し出し台数10台、向島町は保有台数2台で貸し出し台数2台、因島は保有台数15台で貸し出し台数はゼロ、瀬戸田町は保有台数、貸し出し台数共にゼロである。また、捕獲頭数は、旧尾道

市が5頭、御調町が12頭で、その他の地域はゼロである。

Q 観光まちづくり支援事業にかかわり、「ぷらっと尾道」パンフレット作成委託料の額及びパンフレット配置場所について聞きたい。

A 委託料は407万1,824円で、パンフレットは各観光案内所等に配置している。



ぷらっと尾道

Q 自社で処分場を持つ業者が解体工事の入札に参加した場合、最低制限価格を下回る可能性があるのではないか。

A 当面処分費が発生しないことから、そのようなことも想定されるが、一時的なものであると考える。

Q 平成20年度での救急救命士の資格取得者数について聞きたい。

A 5名である。

Q 尾道教育さくらプラン2にかかわり、具体的にどのようなきめ細かな生活指導をしたのか。

A 学力向上と学習指導・生徒指導というものを両輪ととらえ、中学校において、生徒指導支援講師を派遣して、チームティーチング等を通して一人ひとりの子どもにわかりやすい授業、力をつける授業を進めている。

Q 特別支援教育支援員には、県や近隣他市の状況を踏まえても、交通費を支給するべきではないか。

A 市全体の非常勤等臨時的任用にもかかわらず、それを踏まえて考えていきたい。

#### ◆特別会計・企業会計の審査

Q 国民健康保険財政調整基金の積立額を年度途中に取り崩した理由及び保険給付費で6億円もの不用額を出した理由について聞きたい。

A 基金の取り崩しについては、2月補正で国保会計の財源不足を見込んで基金から繰り入れたものである。また、不用額を出したことについては、平成20年度に0.82%の診療報酬の引き下げがあったが、今まで医療費の総額がマイナスになったことがなかったため医療費を過大に見積もっていたためである。

Q 千光寺山索道事業の外部委託を研究することだったが、その後どうなったか。

A 今年度実施している事務事業評価の中で、現在検討中であり、本年中に市としての方向性を出す予定である。

Q 尾道駅前駐車場の、平成20年度の台数が前年度と比較して飛躍的に伸びているにもかかわらず、収入額が前年度と同程度である理由について聞きたい。

A 平成20年度に実施したフラップゲートの取りかえに際し、30分無料としたためである。



尾道駅前駐車場

Q 地域包括支援センターにおけるケアプラン作成にかかわり、直営によるものが1,000件近く増加している理由は何か。また、これによりプラン作成以外の地域包括支援センターが本来果たさなければならない役割が十分に果たせていないのではないか。

A ケアプランの作成については、人員を増やすことにより対応したため増加したものである。また、ケアプランの作成に追われる状況にあるが、その他の相談業務も頑張っており対応している。

Q 介護保険事業決算で、介護予防事業費にかかわり、1,000万円近い不用額を生じた理由について聞きたい。

A 介護予防特定高齢者施策において、医療機関等の検診を受ける特定高齢者が少なかったことにより、通所型の事業が伸びなかったことと、一般高齢者施策において、社会福祉協議会に委託しているふれあいサロンの事業未執行によるものである。

Q 大学使用料にかかわり、決算年度で、不納欠損、未収ともない理由について聞きたい。

A 授業料の支払いが困難な学生について、担当教員や事務局と相談する中で、減免または徴収猶予するとともに保護者にも奨学金などの働きかけをした結果である。

Q 後期高齢者医療事業決算で、保険料の普通徴収にかかわり、収納率が年度当初の予想を上回った理由について聞きたい。

A 当初国保の予定収納率を当てはめて考えていたが、後期高齢者に該当する人の納付意識が高かったことにより、結果として高い収納率となったと思われる。

Q 原田地区の上水道拡張事業にかかわり、計画給水区域内の総世帯数、給水申し込み戸数、普及率、現在の給水状態について聞きたい。

A 平成21年3月31日現在、総世帯数

518戸に対して給水申し込み戸数は、467戸で、普及率90.2%である。現在の給水世帯は359戸で申し込みに対する率は76.9%であり、一日当たりの給水量は100.7トンとなっている。

Q 病院事業会計決算で、初診時選定療養費にかかわり、制度導入後、毎月人数が増えているが、どのように啓発に取り組まれたのか。

A 昨年の9月議会での議決後、病院内にチラシを張り周知した。また、初診に来られた方に対する初診時選定療養費が必要となる旨の説明や、広報紙への掲載、開業医に対する周知活動を行っている。

## ■委員会での審査

### ○総務委員会

#### ◆臨時職員賃金について

Q 一般管理費の臨時職員賃金の増額補正の理由について聞きたい。

A 職員の育児休業、病気休暇、欠員や、年度途中の県からの委譲事務が当初の見込みより増加したための補正である。

Q 財政上の都合から、本来、正規職員で対応すべき事務を非正規職員の対応としてはいないか。

A 緊急的な事務は臨時職員で対応するが、正規職員があたるべき職務は正規職員で対応しており、今後も定員適正化計画に基づいて採用計画を立てていく。

#### ◆尾道市職員給与条例等の一部改正について

Q この経済状況下における、景気後退につながるような議案を今回提案することの妥当性について聞きたい。

A 今回の提案は人事院勧告を尊重してのものであり、職員給与の減額は総額で1億8,800万円程度になるが、その他に、財政調整基金9,000万円を取り崩すなどして、経済対策も含め、約11億円もの補正を今回お願いしている。

Q 人事院勧告制度は公務員にない労働基本権の代償措置であり、減額の勧告に従う必要はないのではないか。

A 増減に関わらず、人事院勧告を尊重するのが我々の責務であると思う。

#### ◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

Q 議員の報酬と期末手当に対する見解について聞きたい。

A 報酬は特別職報酬等審議会に諮り、現在あるべき形になっている。また、期末手当は議会で審議いただき決定されることが適切と考える。

### ○民生委員会

#### ◆新型インフルエンザワクチン接種助

### 成について

Q 助成を受けるための手続方法について聞きたい。

A 接種を受ける医療機関で接種費用助成申請書に記入していただき、助成分の額を差し引いた金額を支払っていただくこととする。

Q 既に接種を終えている人への対応はどのようになるのか。

A 接種を受けたことが確認できる書類を市に提出していただき、償還払いで対応していきたい。

Q 接種率を上げるためにも、学校等での集団接種はできないのか。

A 基本的に任意接種であり、また、ワクチンも医療機関ごとに配分されるため、市としては集団接種は考えていない。

Q 県の方針では、小学校1年から3年生については、12月7日に前倒して予防接種を開始するようだが、本市はどうか。

A 1歳から就学前及び小学校1年から3年生については、12月7日から開始する予定で、小学校高学年については12月21日から開始する予定である。

Q ワクチンは対象者全員分あるのか。

A 妊婦及び1歳から小学校3年生までの基礎疾患を有する人に対しては100%配分できるが、それ以外の幼児や小学生などについては20%くらいしか入ってこないのではないかと聞いている。

Q ワクチンの供給体制について聞きたい。

A ワクチンは毎月2回供給されているが、12月は冬休みや年末年始があることから3回供給されることになっている。

Q 医師会と緊密に協議し、しっかり供給の実情を掴んだうえで対処することが必要ではないか。

A 現在医師会と協議しながら進めている。今後も十分連携をとって進めていきたい。

Q 輸入ワクチンの状況について聞きたい。

A 来年1月頃に入ってくる予定である。

Q 輸入ワクチンの安全性は確認されているのか。

A 輸入される際、国の方で十分検査し、輸入されるものと思っている。

#### ◆老人福祉費補助金について

Q 老人福祉費補助金の補正内容について聞きたい。

A 地域密着型サービス施設整備事業補助金は、第4期介護保険事業計画で整備計画している、地域密着型サービスの平成21年度計画分として、グループホーム1施設、小規模多機能型居宅介護事業所3施設を整備するための補

助である。また、小規模福祉施設スプリンクラー整備補助金は、消防法の改正により、グループホーム6施設にスプリンクラーを整備するための補助である。

#### ◆環境衛生費補助金について

Q 環境衛生費補助金の補正内容について聞きたい。

A 住宅用太陽光発電システム及びLED灯など省エネ設備を設置した住宅に対し、1件につき7万円の補助を行うものであり、財源は県補助金である。

Q 県内他市町では独自の補助制度を導入しているが、本市は導入するつもりはないか。

A 現在県東部では、福山市、三原市、世羅町が独自の補助制度を実施している。本市も今後は国の動向を見ながら考えていきたい。

#### ◆尾道市保育所(園)設置及び管理条例の一部改正について

Q 提案に至った経過及び要因について聞きたい。

A 西藤保育所は開設当時から、近隣の市立幼稚園との競合を避けるために、5歳児保育は行ってこなかったが、保護者の就労状況等の変化に伴い、5歳児クラス開設の要望が出されていたため、来年4月から5歳児クラスを開設するための定員増を提案したものである。

Q 国の保育所の設備基準はクリアしているのか。

A 西藤保育所は0歳児及び1歳児は1人当たり3.3平方メートル、2歳児以上は1人当たり1.98平方メートルで計算しており、国の基準を上回っている。なお、5歳児クラスの保育室は古い遊戯室を改修し、遊戯室は新たに建築する予定なので、国の基準を下回ることはない。

### ○文教委員会

#### ◆学校情報通信技術環境整備事業補助金について

Q 学校情報通信技術環境整備事業補助金の補正の理由と時期について聞きたい。

A 学校ITC整備事業にかかわる、パソコン、デジタルテレビ購入の増額補正を6月にお願いましたが、パソコンについては周辺機器等補助対象として不確定であったものが対象となったことや、テレビについては全額補助の対象とならないと見込んでいたものが全額補助対象となったため、その差額を今回計上したもので、国からの内定が8月上旬であったため、9月補正に間に合わず、今回の提案となった。

Q 各学校等にデジタルテレビを設置する際、相当の周辺機器が必要となるが、学校等の立地条件により共通仕様とは